

お茶と宇治のまち歴史公園（交流ゾーン）における植栽について

現在、開園に向けての準備を進めておりますお茶と宇治のまち歴史公園の交流ゾーンにおきまして、芝生の品種が設計と異なっていたこと及び樹木の育成状況が良好ではないことから、植栽の入れ替え工事を実施いたしますのでご報告いたします。

1. 芝生の品種が異なった原因

納入材料確認において、造園会社からの納品書のみで確認していたため、生産メーカーまでの品種の確認ができていなかった。

2. 施工内容

(1) 芝生

品種：ヒメノ（現状：ノシバ）

施工範囲：交流ゾーンにおける芝生の植栽部（約3,980㎡）

ヒメノの特徴：・草丈が高くないため、刈込回数が少ない。
・ノシバの3倍以上の葉密度がある。
・ノシバより濃緑色である。など

(2) 樹木

低木：5株（全5,325株）

中低木：1本（全972本）

高木：13本（全66本）

3. 施工時期

令和3年6月下旬から令和3年7月中旬（予定）